

今月の推薦句

山田真砂年

大和路の山高からず燕来る	上田信隆
馬刀捕りの指を構へる穴の上	大坪正美
チューリップほどなる閉所恐怖症	飛田小馬々
クレインの吊り荷の下のさくらかな	沼田布美
柏餅終にをのこに恵まれず	中村かりん
大和路の山並たひら春夕焼	牧園 賀
果樹園の枝整ひて春動く	丸山時子
虎が雨鳴立庵に実生の木	矢代靖子
万華鏡春のひかりを美しく	細井恵子
春蘭のいつも湿りてをりにけり	滝代文平
よその子が利発に見えて仏生会	上田信隆
桜咲く縮むばかりの我が身丈	小見戸 実
モノクロを彩りながら四月来る	安藤裕子
川波に鵜の首が出て花疲れ	池田角之助
怪獣の口もて鵜の子の太	中村かりん
軽トラの轍を残し春の泥	深野 怜
蝌蚪の紐我もずると生まれけり	高田 峰
木蓮の付箋貼りたるやうに咲く	戸上晶子
公魚の命小さく真珠色	今井 基
青鰻を食めば昔日今ここに	田村チカ
スコップで砕く土塊黄砂来る	相馬ゆう子